

新潟に

# 「NOISM」再演

「ただいま」



# N O I S M

新潟市立味方中学校  
佐川千智



撮影：篠山紀信

12月15日(金)~17日(日)  
リチャードとびあ新潟市民芸術文化  
会館にて、専属舞踊団「NOIS  
SM」の作品「NOISMA」物質  
化する生け贄が上演された。  
国内では九年ぶり、上演時間、  
セット、衣装などを一新しての  
再演となった。

堀川さんに関いた  
NOISMAの秘密  
最終日の公演を鑑賞  
した。

当日、駐車場は一時  
間前から満車。会場も  
老若男女のお客さんで  
満席だった。  
公演は、振りつけの  
一つ一つが人間とは思  
えない動きで、静と動  
の切り替えが激しく、  
プロダンサーのすばら  
しさが分かった。  
その後、NOISMA  
広報の堀川リサさん  
(28)に解説していた  
だいた。このNOISMA  
AはNOISMAのメ  
ンバーが毎日行ってい  
る「NOISMA」メソ  
ッドというトレーニング  
の元になった作品で、  
ダンスの基本や立ち方  
が身につくようになっ



## 新潟の宝 NOISMAは 文化プロダラムフレ スセンター事務局小池 真一さん(58)の紹介 で、市議会議員の、い しづき幸子さん(63) に感想をおききました。

「地元で世界レベルの  
公演が見られることは  
本当にすごいこと。NO  
ISMAのおかげで新  
潟の中高生のダンスの  
レベルが上がっている。

NOISMAは新潟の宝  
だ。確かに中高生の観  
客は多く、新潟清心女  
子中学、高等学校のダ  
ンス部のみなさんにイ  
ンタビューしたところ、  
「初めてNOISMAの  
公演を見たが、人が見  
たことのない動きやあ  
りえない動きをしてい  
てすごかった。」「普段  
見れないプロの演技を  
間近で見ることができ  
てとてもいい勉強にな  
った。私も目標を定め  
て技術の向上をがんば  
りたい。」と言っていた。  
「二十一年間毎年「全日  
本高校、大学ダンスフ  
ォルティバル」で市内  
の高校が入賞している。  
これはNOISMAによ  
って向上心を持つこと  
ができるからではない  
だろうか。」